

# ■耳鼻咽喉科研修プログラム

## 1) 一般目標

耳鼻咽喉科疾患の基礎的な検査及び診療技術を習得し、基礎的な耳鼻咽喉科疾患の診断とプライマリケアができることを目標とする。

## 2) 行動目標

1. 耳鼻咽喉科の特殊な器具を用いて、身体所見をとり、正確に記載できる。
2. めまい、扁桃炎、聴覚障害の診断と治療を行うことができる。
3. 平衡機能検査、聴力検査、内視鏡検査（鼻腔、咽喉頭、嚥下）、鼻アレルギー検査の結果を評価することができる。
4. エックス線写真、CT、MRIなどの画像検査を必要に応じてオーダーし、読影を行い、正確に評価することができる。
5. 鼻出血の止血処置、異物（外耳道、鼻腔、咽頭など）除去などの基本的な処置や手術を行うことができる。
6. 緊急性のある疾患を理解し、適切な処置を行うことができる。

## 3) 研修方法

1. 指導医または上級医の指導のもとで、めまい、聴覚障害などの入院診療を受け持ち、必要な検査、治療を行う。その他の入院患者についても病棟回診に参加する。
2. 初診患者の予診をする。指導医または上級医による当該患者の診療に参加する。
3. めまい、鼻出血などの救急患者の診療を、指導のもとで行う。
4. 指導医または上級医の指導のもと、一般的な耳鼻咽喉科手術に参加する。また、参加した症例の手術後の管理を指導医または上級医とともに行う。
5. カンファレンスに参加し、疾患、治療方針の決定過程を理解する。
6. カンファレンスで症例提示をする。当該患者の疾患理解など事前準備をする。

## 4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価
- ・
- ・

# 耳鼻咽喉科 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	ミカンファレンス 回診処置	回診処置	回診処置	回診処置	ミカンファレンス (翌週のオペ) 回診処置
	外来診療 めまい検査 エコー、ハイパー 実習	外来診療 生検、ファイバー エコー実習	外来診療 耳処置、 鼓膜切開実習	外来診療 嚥下機能検査	外来診療 鼻出血、鼻骨折 実習
午後	手術	手術	手術	手術	手術
	夕方回診 ミカンファレンス (翌日のオペ)	夕方回診	夕方回診	夕方回診	夕方回診